

| | |
|---------------------------------|---|
| 授業科目名 | 比較高等教育論演習 |
| 科目番号 | CB25192 |
| 単位数 | 1.0 単位 |
| 標準履修年次 | 3 年次 |
| 時間割 | 秋AB木3 |
| 担当教員 | 田中 正弘 |
| 授業概要 | 大学の授業で用いられる教育技法の一つである「ディベート」について、多様な技法を学ぶとともに、理論的思考力の育成を目的とする模擬授業を計画実践する。 |
| 備考 | 対面 |
| 授業方法 | 演習 |
| 学位プログラム・コンピテンスとの関係 | 学位授与の方針(2)「教育に対する幅広い学識を修得し、体系的な見方・考え方が出来る」および(4)「教育学の理論と実践に関して、大学院に進学できる水準の基礎的研究能力を備えている」 |
| 授業の到達目標(学修成果) | 教育方法の一つである「ディベート」について、大学で活用する意義を説明できる。ディベートを用いた授業を計画実践できる。 |
| 授業計画 | 学生の理論的思考力を育成する教育方法である「ディベート」について、「立論の組み立て方」、「反駁の仕方」、「尋問の仕方」、「ロジックの検討」、「第二反駁の仕方」、「わかりやすい話し方」、「審判の仕方」などの技法を学び、期待する学習成果を得られるような模擬授業を計画実践する。 第1回 ディベートとは(イントロダクション) 第2回 ディベートの概要 第3回 立論, 反駁, 尋問の仕方 第4回 ロジックの検討, 第二反駁の仕方, わかりやすい話し方 第5回 審判の仕方, ディベートの試合 第6回 ディベートの授業を計画してみる(1) 第7回 ディベートの授業を計画してみる(2) 第8回 ディベートの授業を実践してみる(1) 第9回 ディベートの授業を実践してみる(2) 第10回 より良いディベート授業とは |
| 成績評価方法 | 模擬授業の計画・実践(50%), および毎回の授業での準備状況(25%)と発言内容(25%)で判断する。 |
| 学修時間の割り当て及び授業外における学修方法 | 第2回から第5回の授業では指定するテキストを読んできたことを前提に、対話形式の授業を行います。 第6回から第10回の授業では、模擬授業を計画・実践してもらいます。 |
| 教材・参考文献・配付資料等 | 1. 内藤真理子・西村由美(編)(2018)『大学生のためのディベート入門 論理的思考を鍛えよう』ナカニシヤ出版 |
| オフィスアワー等(連絡先含む) | 質問などは授業の前後に受けます(東京キャンパス勤務のため)。 |
| その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等) | 授業中に積極的に発言することを期待いたします。一度も発言しない学生は欠席と同じ扱いになります。 「比較高等教育論」を履修している、または履修済みであることが望ましい。 |
| 他の授業科目との関連 | CB25191 比較高等教育論 |
| ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA) | |
| キーワード | 高等教育, ディベート, 授業計画・実践 |